

「身近な水環境の全国一斉調査」が行われました。

清流通信読者の皆様こんにちは！ 皆様は毎年6月全国一斉に行われる「身近な水環境の一斉調査」についてご存じでしょうか？ この調査は

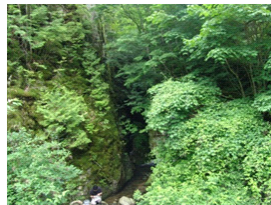


↑ 四万十川米奥小学校下

1980年代半ばから全国各地の河川湖沼で行われていた水質調査を、2004年6月から調査マニュアルを統一して全国的に実施し始めたもので、身近な水環境を簡単な方法で調査することで、多くの人にもっと水の環境について考えてもらい、きれいな水環境を次世代に引き継ごうというものです。 四万十川流域でも昨年

同様、四万十川上流域・米奥小学校下、他数ポイントで行いましたが、大雨で増水のため全国統一の調査日8日を9日に延期し実施しました。 昨年もご協力いただいた米奥小学校の皆さんは要領も得ていて、短い説明の後パックテストを開始。 パックテストは COD（化学的酸素要求量）測定法で、薬品を使って水中酸素の使われる量を調べるものです。測定結果は 2 mgO/L（ミリグラム酸素/リットル）。きれいな水と言われる基準は COD 値 1～2 mgO/L 以下とされていますから、昨年同様「清流」の名にふさわしい状況でした。米奥小学校の児童からも「もっともっと四万十川をきれいにして守っていきたい」という声が聞かれました。その後スタッフは四万十川上流域、久万秋沈下橋（大野見）に移動しパックテストを実施。四万十川上流域では測定三回とも 0 mgO/L で、まさに清流そのものという値でした。この全国一斉調査で得られた COD マップは全国水環境マップ実行委員会のホームページなどでご覧いただけます。

水道の蛇口をひねればきれいな水の出る日本では、水の大切さをともしれば忘れがちになりますが、世界にはその当たり前の水が飲めない、不足している国が多くあります。環境月間の今月、皆様も今一度、私たちの身近な水の環境について考えてみてはいかがでしょうか。



↑ 四万十川上流域

僕たちが清流四万十川を守ってゆく！→



↑ 川の真ん中近くで上流に向かって採水



↑ 一つの試料について三回測定



↑ 測定時は午前中で統一



トビックス

6/16四万十川流域の不法投棄防止啓発パトロールが実施されました。

←清流四万十川を背景に立つ、この場所にそくわぬ看板は？ 6/16（月）四万十川流域の不法投棄防止啓発パトロールが実施されました。パトロール隊は9台の車に分乗し地域内をパトロール。特に不法投棄されやすいチェックポイントでは実態把握と清掃活動が行われ、不名誉にもこの看板が設置された場所もありました。反省会では「以前よりもゴミの量は少なくなってきたが、ゴミの質が悪化し環境を著しく破壊するゴミが増えてきた」という声が聞かれました。



祝 ひめ工房の『四万十物語いちごようかん・おいもようかん』が

全国菓子大博覧会で受賞しました。

第25回全国菓子大博覧会に於いて、四万十ブランド『ひめ工房の四万十物語いちごようかん』が全菓博会長賞を、『ひめ工房の四万十物語おいもようかん』が技術優秀賞を、それぞれ受賞されました。おめでとうございます！

